集中ロック（2ドア用/3・4ドア用）〈12ボルト用〉

取扱説明書

集中ドアロックキット　２ドア用　　　MODEL 46-0PCL2
集中ドアロックキット　３・４ドア用　MODEL 46-0PCL4

本製品は生産後出荷前にダブル動作チェックをし、万全の状態でお客様にお届けしています。取付に関しましてもこの説明書をよくお読みになって破損や事故のないよう十分注意していただくようお願い申し上げます。

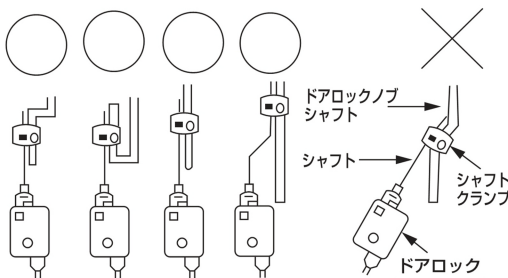
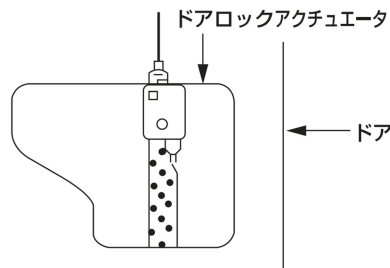
⚠ 取付前の注意

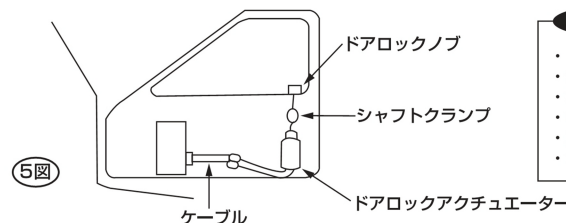
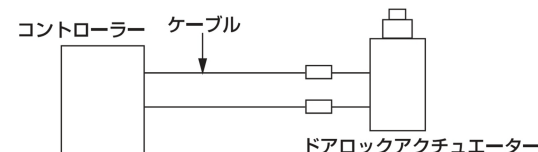
●本製品は原則として、開封、使用後の返品には応じられません。また取付の際、万が一製品及び車両の破損、事故等が発生しても一切責任を負いません。取付の際は十分注意してください。
●本製品を取付ける前に、必ずテスターで車両および本品の特性をチェックしてから作業を行ってください。配線を間違えると破損や故障する場合があります。配線ミスによる破損、故障は有償修理となります。
●配線作業中は事故防止のため、バッテリーのマイナス端子を外してください。また製品の中には延長コード、ギボシ等は含まれておりません。

⚠ 使用上の注意

●本品を落としたり、物にぶつけたりすると不備、故障の原因となります。また、水漏れ、湿気は厳禁です。また過度の暑さや寒さを与えると作動しなくなることがあります。
●本品を本来の目的外に改造された場合や、分解、外国で使用した場合の責任は一切負いません。

【取付方法】

1. ドアの内張を外す。
（かくしネジ等は車ディーラーの整備マニュアルを見ると便利です。）
2. ドアロックアクチュエーターの装着位置を決める。（2図）
●アクチュエーターとドアロックのクランクシャフトを平行にする。
●可動部がスムーズに動くようにする。
●アクチュエーターが他の物（ガラス等）に当たらないようにする。
3. アクチュエーターをネジ止めで固定する。（3図）
（固定するドアフレームのない場合は、プレートを利用する。）
4. 長さを調整して、シャフト同士をシャフトクランプで固定する。
●アクチュエーターのストロークとクランクのストローク差が片寄らないように調整する。（片寄っているとモーターがやがて焼けてしまいます。）
●シャフトクランプのネジ締めを確実にする
（クランプをねじ切らない程度に締める。ネジ切りの場合、パーツは有償となります。）

2図　3図

5. 延長ケーブルを、ドア側より他のドア側に配線して接続する。（5図）
●アクチュエーターの取付け方法により配線が逆になることもある ので、キーレスの送信機やドアスイッチを操作して、指令通りに動作するか確認する。

●手動にてドアノブを操作すると、リンク機構が外れて送信機からの操作と連動しないことがあります。その場合、現在のドアノブの状態と同じ方向にキーレス送信機より操作して、それから次の操作を行ってください。

取付上の注意

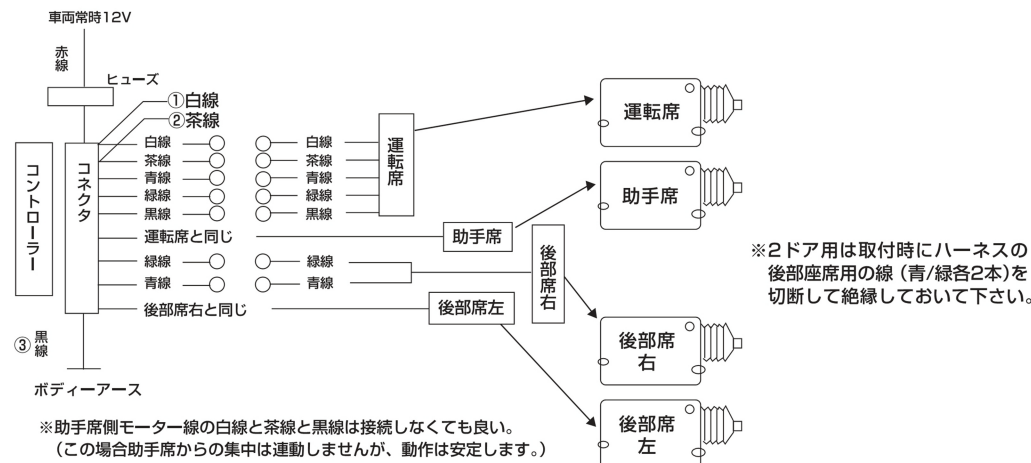
―――― モーターがうまく作動しない時は、次のことが考えられます ――――

1. 配線接続のゆるみ
2. モーター取付の際のストロークの片寄りから生じる半ロック状態
・モーターのリンク部分に負荷ががかっていない状態で作動させると半ロック状態になり、一時的に動かなくなることがあります。
・2はモーターの破損をさせることがありますので、充分注意してください。また、継続して電気を導電させるとモーターは焼き付いてしまいます。

※2のテスト方法
モーターを固定し、モーターのリンク部分にある程度負荷をかけた状態で、緑/青、2本の線の片側をアースに落として反対側に12ボルトを一瞬導通させてください。（導通を継続させるとモーターが焼けてしまうことがあります。）
これを交互に繰り返し、作動すればモーターは正常です。この場合、取付けたクランプの接続位置をずらして正常作動する位置にしてください。

●プレートは車種により取付スペース・位置が異なるため、同梱のものにこだわらず、市販の物でそれぞれの車にあったものをお使いください。
●シャフトクランプを締めすぎて破損させないようにしてください。
●シャフトを何回も曲げますと、折れやすくなるのでご注意ください。

2013FEB

【配線図】

ドアロックアクチュエーター（モーター）のシャフトと車側シャフトを接続する際は、ストローク差がかたよらない位置でシャフトクランプにより接続してください。位置が悪いと電気が一定時間以上モーターに流れてしまい、モーターが焼けてしまうことがあります。なお、この場合のモーター交換は有償となります。

【補修パーツ】

・モーター本体（2本線）	¥2,400	・シャフト	¥800
・モーター本体（5本線）	¥3,200	・シャフトクランプ・ネジセット	¥800

【集中ロックの点検方法】

集中ロックセットの5本線モーターにはマイクロスイッチが内蔵されており、運転席側モーターが伸びたり縮んだりするストロークの動作でロック・アンロックの信号を作り、その信号を集中ロックコントローラーに送り、助手席側モーターを動かしています。たとえば集中ロックセット2ドア用（運転席・助手席）を取り付ける場合、運転席側モーターあるいは助手席側モーター内のスイッチがモーターストローク調整不良の為に（運転席側：ロック信号状態・助手席：アンロック信号状態）のような現象が起こると、集中ロックコントローラーにはロック信号とアンロック信号が同時に入ってしまう為にモーターが動かなくなってしまう事があります。このような症状がみられる場合には、以下の順番で運転席側と助手席側に取り付けた5本線モーターのストローク調整をして下さい。

①運転席側に取り付けた5本線モーターの配線5本（白・黒・茶・緑・青）を結線し、助手席側に取り付けた5本線モーターの配線は2本（青・緑）結線し、3本（白・黒・茶）を外した状態で運転席側に設置したモーターのストローク調整をします。車両側ロックノブを動かしながらドアロック時の動きとアンロック時の動きを5本線モーターのストローク幅の中でスムーズに動くように調整します。

②手動でも当社リモコンロックのリモコンでも動くようになれば助手席側も同様に調整して下さい。この時、運転席側に取り付けた5本線モーターの配線は2本（青・緑）のみ結線します。

③助手席側のストローク調整が終了したら、運転席側に取り付けた5本線モーターの3本（白・黒・茶）も全て結線し、当社リモコンロックのリモコンで再度動作を確認します。

※古い年式の場合、モーターを取り付ける車両側リンケージ等にガタつきやアソビが生じている可能性が考えられます。このような車両にモーターを取り付ける際には運転席と助手席のストローク調整が困難なこともあります。その時には助手席側に取り付けた5本線モーターの配線3本（白・黒・茶）を外す事をお勧めします。助手席側からの集中ロックとしての連動が効かなくなりますが動作的には安定します。（外した3本の線は必ず絶縁して下さい。）

※集中ロックコントローラーより出ている①白線と②茶線は当社リモコンロックに接続する線です。この線を交互にボディーアースする事により、キーレスと接続している状態と同じような、ドアロックとアンロックの動作が可能になります。

2013FEB